

## 1. 2026 年上半期報告

2026年7月現在、当地パプアニューギニア(PNG)では有償資金協力事業1件、無償資金協力事業2件(うち1件実施準備中)、技術協力プロジェクト10件(うち3件実施準備中)、個別専門家/研修8件(うち3件実施準備中)、海外協力隊17名、民間連携事業1件、日本での長期研修員27名を実施中/派遣中です。2026年上半期の主な事業進捗について、以下のとおり報告いたします。

### (1) 所長交代



4月15日付で、当事務所の所長が松岡秀明前所長から白水健一新所長に交代いたしました。松岡前所長は、在任期間中、ナザブ・トモダチ国際空港の開港式をはじめ、ODA50周年記念式典、独立50周年等、様々な記念行事が行われた他、各種事業の推進および体制強化に尽力されました。白水新所長のもと、引き続き関係者の皆様との連携を大切にしながら、事業の円滑な実施とさらなる発展に努めてまいります。 [関連リンク](#)

### (2) 国際女性の日ウォーキングイベントを開催



3月8日、首都ポートモレスビーで、国際女性の日(IWD)を記念したイベントが開催され、一般市民をはじめ、政府関係者、開発パートナー(DP)、女性団体等が参加しました。当事務所は、この取り組みを支援するため、IWDのためのTシャツを製作・提供し、参加者はこのシャツを着て、市内を行進しました。

プログラムの後半では、様々なパートナー団体からの連帯のメッセージが寄せられ、JICA 松岡所長(当時)もスピーチを行いました。 [関連リンク](#)

### (3) 国立水産大学で無償資金協力案件の起工式



5月20日、ニューアイルランド州ケビエンにおいて、無償資金協力「国立水産大学の施設及び訓練機材整備計画」の起工式が開催されました。PNG政府からアノ・パラ国家計画大臣及びジェルタ・ウォング水産大臣、日本側からは米田東南アジア・大洋州部長をはじめ日本大使館、JICA関係者が参加しました。国立水産大学は、対PNG ODA第1号案件として設立され、以来、両国は水産分野の人材育成に協力して取り組み、多くの卒業生が、政府、産業界、そして太平洋地域で重要な役割を担っています。 [関連リンク](#)

### (4) 教育分野における新プログラムが正式に開始



2月25日、「教育のためのグローバル・パートナーシップ(GPE)」の助成金を通じて支援される「TOGETHER」プログラムが正式に開始されました。同プログラムはPNGにおける主要な教育システムの強化に重点がおかれ、教員の質の向上や学校再編の展開支援、カリキュラム強化、ジェンダー配慮の強化等に取り組みます。開始を記念する式典ではDPを代表して松岡所長(当時)が開会の辞を述べた他、PNG教育省・UNICEF・JICAが持続可能で効果的な教育改革を支援する合意文書に署名しました。 [関連リンク](#)

### (5) 帰国研修員発表会を開催



5月1日、ポートモレスビーにて JICA 帰国研修員による研修成果の発表会が開催されました。発表会では、各研修員より日本での研究成果と共に PNG の開発課題への対応策に係るアクションプランについて発表されました。また、今回の発表者には同プログラムを通じて初めて日本の大学で博士号を取得した研修員も発表しました。

### (6) JICA チェアを開催



5月6日～8日の間、萱島 緒方貞子平和開発研究所シニアリサーチアドバイザーが PNG を訪問し、パプアニューギニア大学(UPNG)や PNG 教育省関係者向けに JICA チェアを開催しました。今回は、主に日本の近代化、とりわけ教育制度の発展について講義が行われ、関係者間で今後の連携強化やプログラム発展、教育制度強化に関する知見を共有しました。8日のUPNGでの JICA チェアには80名以上の学生・教職員が参加し、同校学長も本講義について高く評価されました。 [関連リンク](#)

### (7) 教育技プロが最終報告会を開催

3月13日、ポートモレスビーにて「初等理科教科書養成校強化プロジェクト」の最終合同調整委員会(JCC)が開催されました。本事業では、将来の小学校教員がよりよい算数・理科の教授法を身に付けられるよう全国の教員養成校への教材提供、講師の指導力向上、講師用教材の開発等が支援されました。本会合では、これまでの成果の振り返りと終了後の持続的な取り組みについて意見交換が行われ、教育省副次官は「極めて成功した技術協力」とであると評価しました。 [関連リンク](#)



教育技プロ最終 JCC の様子

### (8) 電化促進アドバイザー最終報告会を開催



5月26日、ポートモレスビーにて「電化政策実施促進アドバイザー」の最終報告会を開催しました。2024年6月の開始以来、本プロジェクトは PNG の電化推進を支援し、政策策定や組織能力の向上、戦略計画の策定能力の向上を通じて、信頼性が高く持続可能なエネルギーへのアクセス拡大に取り組みました。報告会では、これまでの進捗と今後の方向性について意見交換が行われ、全国のエネルギーアクセス向上に向けた強いコミットメントが示されました。

[関連リンク](#)



### (9) 協力隊員が教員研修を実施

3月19日、PNGの小学校で活動する JICA 海外協力隊員3名が、ポートモレスビーで現職小学校教員約50名を対象とした教員研修を実施しました。当日は、JICA の支援により制作された理科教科書の活用を軸に、デモ授業や理科実験を取り入れた授業づくりを紹介しました。また、教科書と教員用指導書を活用した模擬授業のほか、身近な材料を用いた教材作成(風向計)を実施し、実験を取り入れた指導の工夫や教科書の活用方法について理解を深めました。

[関連リンク](#)

## 2. トピックス: 現地関係者紹介

### 地球環境部環境管理・気候変動対策グループ

松岡 秀明 前所長(2023年9月～2026年4月)



当地での2年7ヶ月は、とても中身の濃い、充実した日々でした。ナザブ・トモダチ国際空港の開港式や日本のODA50周年式典、小学校の理数教科書配布などひとつひとつの事業、イベントが良い思い出となっています。また、25年前に私が開発コンサル

タントとして初めて携わったクイキラの給水施設が今でも大事に使われていたのも、とても感慨深いものでした。「もっと PNG にいたかった！」というのが率直な気持ちですが、今後は JICA 本部地球環境部で、途上国の環境問題・気候変動対策に貢献したいと思えます。

PNG の人々、JICA 関係者、日本人コミュニティ、開発パートナーのすべての人々に厚く感謝するとともに、またどこかでお会いできればと思っています。

Tenk yu tru!

白水 健一 所長(2026年4月～)

※2025年4月～同事務所次長



次長として1年間勤務させて頂き、この度所長を拝命しました。これまでタイやフィリピンといった東南アジアでの経験を

主に積んできましたが、大洋州・パプアニューギニアとの出会いを大変嬉しく思っています。パプアニューギニアは、豊富な資源や大洋州随一の人口といったポテンシャルと、インフラ、教育、保健等、様々な課題を抱える国であり、日本や JICA が貢献できることも非常に多いと実感しています。成田・ポートモレスビー間の航空便も就航し、日本との関係もより深まっていく貴重なタイミングであり、50年の ODA を通じて構築された、パプアニューギニアと日本・JICA の信頼関係を更に発展させるべく、皆様と協力していければと思います。

(参考) [所長あいさつ | 海外での取り組み - JICA](#)

### 【JICA 海外協力隊】

2026年4月に4名の新規隊員が着任し、合計17名となりました。隊員の皆さんは首都ポートモレスビーでのオリエンテーションや東ハイランド州で語学研修などを受けた後、それぞれの任地に赴きました。皆さん、健康、安全に留意しつつ活躍されることを期待しています！



(写真左から)

西垣 俊一 隊員

(観光/ミルンベイ州アロタウ、ミルンベイ州観光局)

山岸 勝広 隊員

(数学教育/ミルンベイ州アロタウ、キャメロン高校)

小山 直人 隊員

(コンピュータ技術/東ハイランド州ゴロカ、J.K マッカーシー博物館)

神崎 正成 隊員

(作業療法士/アロタウ病院 リハビリテーション科)

### 【JICA 事務所スタッフ】

ビビアン・ポロティ所員



皆さん、こんにちは！私は2024年7月にアドミニストレーション・オフィサーとして JICA での勤務を開始し、現在は会計、広報、ジェンダー分野の業務を担当しています。JICA での勤務は非常にやりがいのある仕事であり、意義ある国際協力事業に貢献するとともに、多様なチームと協働する機会に恵まれています。私は、専門性の向上、チームワーク、そしてインパクトのあるパートナーシップを重視する組織の一員であることを誇りに思っています。

### 3. 事業リスト(2026年7月現在)

#### 3-1. 重点分野①: 経済成長基盤の整備

##### (1) 経済インフラ整備・維持管理プログラム

- (有償<sup>1</sup>)ラム系統送電化網強化事業  
L/A 調印 2013年8月、借款契約額 83.40 億円
- (技プロ<sup>2</sup>)公共投資管理プロジェクト  
実施期間 2024年12月～27年3月
- (技プロ)持続可能な土地利用情報管理に向けた国家土地利用情報管理システム強化プロジェクト  
実施期間 2026年2月～2029年5月
- (技プロ)東ニューブリテン州における SHEP アプローチを活用した複合農業能力向上プロジェクト  
実施期間 2026年2月～2029年5月
- (専門家)選挙管理委員会能力強化(主権者教育)  
実施期間 2026年2月～2029年2月
- (国別<sup>3</sup>)民主国家における選挙マネジメント  
実施準備中
- (広域<sup>4</sup>)WCO 連携 税関能力強化フェーズ 2  
実施期間 2024年7月～2027年6月
- (広域)地域警察セミナー(大洋州)  
実施期間 2025年11月～2028年10月
- (専門家)ジェンダー主流化  
実施期間 2026年4月～2028年3月
- (無償)ココボ・ラバウル沿岸幹線道路土砂災害対策計画  
実施準備中
- (有償)トクア空港整備事業  
実施準備中
- (専門家)開発計画アドバイザー  
実施準備中
- (技プロ)橋梁維持管理能力強化プロジェクト  
実施準備中

##### (2) 産業振興プログラム

- (技プロ)資源収入管理能力向上プロジェクト・フェーズ 2  
実施期間 2024年3月～2027年2月
- (民連<sup>5</sup>)零細漁業者のバリューチェーンへの連結による小型船外機船市場創出の普及・実証・ビジネス化事業  
実施期間 2023年11月～27年2月
- (無償<sup>6</sup>)国立水産大学の施設及び訓練機材整備計画  
実施期間 2025年6月～2030年12月

#### 3-2. 重点分野②: 社会サービスの向上

##### (3) 教育支援プログラム

- (専門家)教育政策アドバイザー  
派遣期間 2024年2月～27年1月
- (技プロ)中等理科教育の質改善プロジェクト  
実施準備中

##### (4) 保健医療プログラム

- (技プロ)フィラリア対策プロジェクト・フェーズ 2  
実施期間 2023年4月～27年4月  
<https://www.iica.go.jp/oda/project/202108336/index.html>
- (草の根<sup>7</sup>)山岳地域の母子保健サービス改善プロジェクト  
実施期間 2025年11月～28年11月

- (科技<sup>8</sup>)南西大洋州におけるマラリア撲滅と開発の促進プロジェクト:地域特性に適応した多面的な戦略実施準備中

#### 3-3. 重点分野③: 環境・気候変動・防災

##### (5) 環境保全プログラム

- (技プロ)大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト・フェーズ 3  
実施期間 2023年7月～28年7月
- (専門家)気候変動対策に資する森林管理能力強化  
実施期間 2025年11月～2028年11月

#### 3-4. 課題別研修・長期研修

- 課題別研修  
2026年度は、59コース、61名の研修員が課題別研修を受講予定です。
- 長期研修  
2026年1月現在、日本の大学院において、以下の研修員が主に大学院修士課程を専攻中です。  
SDGs グローバルリーダー: 11名  
KIZUNA プログラム: 2名  
Agri-Net プログラム: 1名  
Road Asset Management Platform: 1名  
(無償)人材育成奨学計画(JDS): 12名

#### 3-5. JICA 海外ボランティア

現在、17名の海外ボランティアが活躍中です。

#### 3-6. JICA チェア

2026年4月に、PNGで5回目となるJICAチェアを開催。国立パプアニューギニア大学での講義の他、教育省と教員訓練校にて講義を行いました。

#### 3-7. ジェンダー主流化への取り組み

JICA関係者に対して性的ハラスメントの防止セミナーの開催や、PNGで活躍する女性をFBでの広報、ジェンダーに基づく暴力(GBV)撲滅に向けた動画制作、UN Womenと共同でのイベント実施などを行っています。

#### 3-8. 緊急援助

JICAは日本政府の決定により、自然災害等の被害に対して緊急援助も行っています。

#### 3-9. JICA 研修員同窓会事業

現在、4,000名超が同窓会に所属しており、同窓会ニュースレターの発行等の活動をしています。

##### JICA パプアニューギニア事務所

2<sup>nd</sup> Floor, PWC Haus, Harbour City

Port Moresby, NCD, Papua New Guinea, P.O. Box 1660

Tel: +(675) 321-2677

E-mail: [pn\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:pn_oso_rep@jica.go.jp)

URL: <https://www.iica.go.jp/overseas/png/index.html>

FB: <https://www.facebook.com/jicapng/>

YouTube: <https://www.youtube.com/watch?v=oR5r8IblTyA>

<sup>1</sup> 有償:有償資金協力

<sup>2</sup> 技プロ:技術協力プロジェクト

<sup>3</sup> 国別:国別研修

<sup>4</sup> 広域:広域研修

<sup>5</sup> 民連:民間連携事業

<sup>6</sup> 無償:無償資金協力

<sup>7</sup> 草の根:草の根技術協力プロジェクト

<sup>8</sup> 科技:地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)